

## 新型コロナウイルスについて

静岡県立静岡がんセンター 感染症内科 倉井華子

各種報道でご存じのことと思いますが、中華人民共和国湖北省武漢市において、2019年12月以降に原因不明の肺炎患者が複数報告されました。中国保健当局は、その後の検査等により原因が新型コロナウイルスであるとの暫定的な診断を発表しました。さらに2020年1月13日にはタイで、1月16日には日本国内においても、武漢市内に滞在歴のある患者から新型コロナウイルスが検出されたことが発表されました。今回はこの新型コロナウイルス感染症についてわかっていること、私見も交えて解説したいと思います。なお今回の情報は2020年1月18日午前の時点での情報であり、今後内容に変更があるかもしれません。

コロナウイルスとは何でしょう？一般的に人で感染症として問題を起こすコロナウイルスはいわゆる風邪の原因ウイルスであり、風邪の10~15%を占めるといわれています。一方近年動物由来のコロナウイルスがヒトにも感染症を起こすとして新興感染症としてクローズアップされてきています。1つは2002年に中国を中心として問題となった、重症急性呼吸器症候群コロナウイルス(SARS-CoV)です。ヒト-ヒト感染で伝播するため、多くの方が罹患し、感染者は疑い例も含め8,069人とされ、うち775人が重症の肺炎で死亡しています(致命率9.6%)。ただ、もともとは動物由来のウイルスであり、自然宿主はコウモリと推測されています。もう一つは2012年に問題となった中東呼吸器症候群コロナウイルス(MERS-CoV)です。病院内や家族内でのヒト-ヒト感染もあり、中東を中心に韓国や多くの国で発生が見られました。不顕性感染もあるため、正確ではありませんが2,494人の感染者のうち858人が死亡した(致命率34.4%)とデータが出ています。こちらラクダが自然宿主であるとされ、こうした動物由来のコロナウイルスの感染症が新型コロナウイルス感染症として問題となっています。

さて今回中国武漢で発生した新型コロナウイルスについてわかっていることをまとめてみます。

最初に発見された症例は2019年12月8日に発症したとされます。その後も59人の疑い症例が次々と見つかり、41人から同じ型の同じ新型コロナウイルスが検出されています。多くは軽症ですが、6人が重症、2人が亡くなっています。原因は武漢にある海鮮市場とされ、ほとんどの患者がこの市場に出入りしていたため何らかの動物からのコロナウイルスがヒトに感染したと考えられます。ヒト-ヒト感染についてはまだ十分な情報が集まっていますが、患者と濃厚な接触があった計763人(医療従事者を含む)が追跡調査され、接触者から新たな発症者があったという報告はありませんでした。ただし、市場に働く患者の家族が発症した例も1例報告があるため、まったくヒト-ヒト感染がないとは言えません。過去のSARSやMERSの広がり比べると、今回の新型コロナウイルスについてはヒト-ヒト間での感染力はそれほど強くないと考えられます。

2020年1月16日、日本でも肺炎患者1人から新型コロナウイルスが検出され、大きくとり上げられています。ただし患者さんの発症は1月3日で、すでに症状改善し退院しています。この患者さんは武漢に滞在していますが、閉鎖された海鮮市場には立ち寄っておらず、感染源についてはまだわかりません。中国と日本以外ではタイで2名の患者が見つっていますが、いずれも武漢滞在歴があります。

さて、ここまでの情報を受けて私たちができることは何でしょうか？ 現時点で必要なことは、感染源や臨床象が不明な点もあり、早期に疑い例をみつけて診断につなげることです。また、国内でこのウイルスによる死亡例を出さないようにすることも大事です。もう一つはヒト-ヒト感染のリスクは低いと考えられますが、できる限り曝露を避けることが勧められます。

#### ■早期診断のために

日常診療の中で渡航歴を訊くようにしましょう。今回の新型コロナウイルス感染症の症例定義は、  
I. 発熱(37.5 度以上)かつ呼吸器症状を有している  
II. 発症から2 週間以内に、武漢へ渡航しているか、新型コロナウイルス患者との接触歴があるの 2 項目を満たしていることです。新型コロナウイルス患者の接触者は基本的には追跡調査はされていますので、武漢の滞在歴がポイントとなります。

上記 2 つを満たす症例を診た時は保健所にご相談下さい。

#### ■飛沫感染対策を習慣づける

今回は新型コロナウイルス感染症をとり上げましたが、今シーズン、静岡県は例年より早くインフルエンザの注意報レベル(定点当たり 10.0 人)を超えています。新型コロナウイルスもインフルエンザもサージカルマスクで予防可能です。渡航歴にかかわらず、咳やくしゃみなど呼吸器症状のある患者さんを診療する際には、関わるスタッフがサージカルマスクを着用すること、また待合室などで患者さんにもサージカルマスク着用を促すことで、呼吸器感染症の病原体から自身や施設を守ることができます。

今回は新型コロナウイルスが見つかりましたが、今後も新たな人畜共通感染症が見つかり国内にも入ってくる時代が来ています。世界の情報に注意をしながら、正しい知識を身につけ、リスク評価を行い、必要な対策をとれるようになりたいと思います。

#### 【参考文献】

1. 国立感染症研究所「コロナウイルス(2020/1/10)」

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/9303-coronavirus.html>

2. CDC 2019 Novel Coronavirus, Wuhan, China. (January 17,2020)

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/index.html>

尚、静岡県公式ホームページからも、情報を得ることが出来ますので、併せてご覧ください。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kinkyu/haien20200117.html>